

科目番号	15	科目名	地域コミュニケーション論		
英文科目名	Communication Theory in Local Areas				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	上田 洋平			(地域共生センター 講師)	
実施方法	対面授業				
教室名	講義室未定	会場			
授業期間	2024年2月9日(金)～2024年2月11日(日) <毎週 曜日> 1～5時限・講時 9 : 00 ～ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(ワークブックへの記入ほか)	100			%
別途負担費用	(なし)		あり()円		
その他特記事項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。				
<講義概要・到達目標>					
コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと?「人の話が聞ける」こと?それとも「空気を読む」ことだろうか?					
当講義では「communicāre(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。(到達目標)					
(1)地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。					
(2)対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。					
(3)上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	2月9日	オリエンテーション「自分探求」			
2	2月9日	特別レクチャー①			
3	2月9日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想①—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
4	2月9日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想②—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
5	2月9日	レクチャー／後半は学生個人ワーク			
6	2月10日	学生×学生ダイアログ①「隣人の伝記」			
7	2月10日	特別レクチャー②			
8	2月10日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機」①			
9	2月10日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機」②			
10	2月10日	レクチャー／後半は学生個人ワーク			
11	2月11日	学生×学生ダイアログ②			
12	2月11日	特別レクチャー②			
13	2月11日	学生×地域人ダイアログ「居合わせから仕合わせを」①			
14	2月11日	学生×地域人ダイアログ「居合わせから仕合わせを」②			
15	2月11日	まとめ			
<教科書・参考書>					